

まちの話題

長崎街道を行く



4月18日、初夏を思わせる気候の中、総勢130人が参加して歴史散歩が開催されました。JRけやき台駅から長崎街道にそって南下し、弥生が丘駅までの約6.6kmの道のりを約2時間30分かけて歩きました。

途中、上野地藏堂道標など街道由来の江戸時代の史跡や伝承地を訪れ、それぞれの場所では、各市町のボランティア団体のメンバーが日頃勉強した知識を生かして解説を行いました。参加者は「健康にも良く、知らないことばかりだったので勉強になりました。」と来年の参加を楽しみにしていました。運営する小郡・鳥栖・基山クロスロード文化研究会では、来年は小郡一鳥栖の歴史散歩を計画しています。

今年もきれいになった宝満川

毎年行われている宝満川の清掃ボランティア活動が、4月29日(昭和の日)に行われました。市民のボランティアが参加し、津古から今朝丸までの堤防や河川敷の草刈りやごみ集めに汗を流しました。

ごみの量は毎年少なくなってきたことですが、自転車など不法投棄や粗大ごみについては増加しているとのことでした。

終了後、参加者から「きれいな宝満川を保つために、ごみはきちんと持ち帰ってほしい。」などの意見が出ていました。



地元が元気

将軍藤まつり、花立山春の茶会、 味坂ポピーまつり、大板井ポピー園



▲ライトアップされた将軍藤

気候も良く、あちらこちらで桜やつつじといった花が見頃を迎えた4、5月。小郡でも桜馬場の桜まつり、花立山、城山公園とたくさんの方が訪れました。

4月18日～5月6日まで将軍藤まつりが行われました。連日たくさんの方が訪れ、藤棚の下でお弁当を食べたりして藤を堪能していました。地元有志の協力による出店もにぎわいました。



▲大板井ポピー園

約23,000平方メートルの農地いっばいにポピー約100万本、ルピナス約5,000株が咲き誇るのは、光行のポピー園。

味坂地区を活性化させようと「味坂21の会」が休耕田に種をまいたのが始まりでした。今年は、新たにラッセルも植えられました。会場では、地元特産品の野菜や花、弁当などの販売も行われ、まつりに花を添えました。

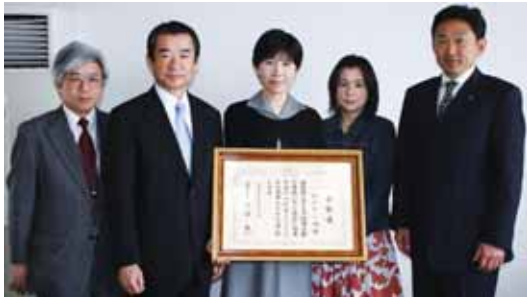


▲城山公園のつつじ

また、大板井1区では大板井1区自然環境を守る会によりポピーが植えられ、こちらも見頃を迎えていました。

市には、このように私たちを楽しませてくれる地元有志によるイベントがいくつかあります。花立山を楽しむ会による花立山春の茶会、秋の収穫祭もその一つです。

文部科学大臣表彰



▲代表して受賞報告を行った福永さん(写真中央)と久富さん(写真右から2人目)

読書ボランティア団体「おはなし畑」(福永厚子さん、舟越春美さん、西村好子さん、久富弥生さん)が「子どもの読書活動優秀実践団体に対する文部科学大臣表彰」を受賞しました。

おはなし畑は、平成5年4月に小郡市の読み聞かせ団体9団体の中で最初に設立されました。現在、図書館で毎月1回おはなし会を開くほか、小郡市をはじめ大刀洗町、久留米市、うきは市など北筑後地区の小中学校で絵本の読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどを行っている他、ほかの読み聞かせ団体への指導なども行っています。

小郡市では、市内の各小学校で保護者などによる読み聞かせが行われているほか、地域での読み聞かせも行われるなど読み聞かせが広がっています。福永さんは、「自分で本を選び、本を読んで、そして自分のものにしていく力が大事。本を一生の友達にしてほしい。」と話されました。

要約筆記活動が10周年を迎えました

小郡要約筆記の会「たなばた」が活動10周年を迎え、記念式典を行いました。

要約筆記とは、話し手の言葉を要約し、文字にしてスクリーンに映し出して内容を伝え、難聴者の社会参画をしやすいものです。現在、学校の入学式、卒業式や大学などの授業の支援、講演会などでの活動が広がっています。

「たなばた」の玉井信子会長は「要約筆記の活動については、まだまだ知られていません。利用することで社会参加ができるということを伝えていきたい。」と話されました。

また、町田康文さん(福岡大学人文学部講師)による講演会「有償ボランティアに求める」が行われ、「一人ひとりの違い、求めているものに気づき、対応していくことが必要。」と話されました。



▲町田康文さんによる講演会の様子

全国大会出場



のぞみが丘小学校6年の安上昂志くんが7月28日～30日に東京都で行われる第27回全国小学生テニス選手権大会の全国大会に出場します。

安上くんは、5月に行われた九州地域予選のシングルスで優勝を果たしたほか、同時に行われた九州小学生ダブルス選手権大会でも優勝しました。

安上くんは、「今回の試合では、自分の立てた課題をやり通すことができたことが優勝につながったと思います。全国大会でも自分のテニスができるように頑張ります。」と意気込みを語ってくれました

小郡の歴史を引き継いでいくために

5月18日、大原中学校で大原合戦650周年実行委員会から小郡市・大刀洗町の小学5年生と中学生へ郷土史大原合戦漫画絵本が贈呈されました。

この贈呈は、大原合戦650周年を記念し行われたもので、計4,800冊が贈呈されました。

贈呈式で、実行委員長の右田喜章さんは「大原合戦を知らないなど小郡の歴史を知らない方が多い。地域に密着したイベントで小郡の歴史に興味を持ってもらうとともに愛着を持ってもらいたい。そして、小郡の歴史を引き継いでほしい。」と話されました。

代表して贈呈を受けた大原中学校生徒会長の波多望さんは「手作りの絵本から、大原合戦のことを伝えたいという気持ちを強く感じます。大原合戦を次の世代に伝えて、引き継いでいきたいです。」と話しました。



▲絵本の贈呈を受ける波多望さん(写真左)と贈呈を行う実行委員会事務局長の菊池康男さん